

# 干布まちづくり懇談会の提言に対する対応状況

干布地域

令和6年10月2日開催

- No. 1 **人口減少時代におけるまちづくりについて**  
市長公室、社会福祉課、保険給付課、商工観光課、生涯学習課
- No. 2 **公園の設置について**  
建設課
- No. 3 **干布小学校の清掃について**  
教育総務課、学校教育課
- No. 4 **第一中学校の通学路整備と今後の安全安心な地域づくりについて**  
建設課、教育総務課
- No. 5 **今後の市報について**  
市長公室
- No. 6 **第一中学校の夏季休暇について**  
学校教育課
- No. 7 **新スタジアムを活かしたまちづくりについて**  
文化スポーツ課、建設課

# 干布まちづくり懇談会の提言に対する対応状況

干布地域

令和6年10月2日開催

No.	1	標 題	人口減少時代におけるまちづくりについて
所管課等		市長公室、社会福祉課、保険給付課、商工観光課、生涯学習課	
<p>《市民のこえ》</p> <p>全国的に人口減少が進む中、天童市においては、人口が増加に転ずるように各種施策をとっていただいていると思っています。しかしながら、人口の減少に歯止めをかけることは非常に困難であるとも感じています。</p> <p>そこで、転入者や出生数の増加など人口が増加する努力を続けながらも、現在天童で生活している人の幸福度が増すような施策の推進をお願いします。</p> <p>例えば、以下のような企画をしていただけないでしょうか。</p> <p>(1) 市内の参加者も実施者も楽しめるようなお祭りやイベント</p> <p>(2) 高齢になってからも、地元に着愛を持ち、「天童に住んでよかった」と思えるようなイベントや事業</p> <p>また、市民が、そういったイベント等の事業を企画した時に、市から補助等も行っていただきたいです。</p>			
<p>＜回答及び対応状況＞</p> <p>本市の人口増減について、転入者と転出者の差による社会増減は、ほぼ横ばいで維持していますが、死亡数が出生数を上回る自然減の数値が大きいことから人口減少が続いています。人口減少対策として、本市に住み続けたいと思える施策を実施し、転出を防ぐことも重要と考え、本市でも子育て支援や雇用の場の創出など総合的な取り組みを進めているところです。</p> <p>本市のイベント等については、観光誘客に努めるとともに、市民が参加できるイベントも開催し、まちの賑わいの創出に取り組んでいます。</p> <p>一例として、天童夏まつりにおいては、花笠おどりパレードや将棋みこしパレードに地域単位でも参加いただき、老若男女が楽しむことができるイベントとして実施しています。</p> <p>また、高齢者向けの事業としては、節目の年齢において長寿賀詞や祝金を贈呈しているほか、交流や介護予防を目的とした地域カフェや令和5年度からは町内会等が主体となり各地域の特性を活かした敬老会等事業を開催していただいています。各事業に御尽力いただいている皆様に深く感謝申し上げます。</p> <p>御提案のとおり、今後も「天童に住んでよかった」と感じていただけるよう、各種事業の充実や活気のあるまちづくりに取り組みます。</p> <p>また、イベントの実施については、市が主催するよりも市民の皆様が主体となる事業が、より地域の活性化につながると思っています。イベントを開催する際には、できる限り御協力したいと考えていますので、まずは市長公室に御相談いただければと思います。</p>			

No.	2	標 題	公園の設置について
所管課等		建設課	
<p>《市民のこえ》</p>			

## 干布まちづくり懇談会の提言に対する対応状況

干布地域

令和6年10月2日開催

土地利用の規制が緩和され、干布地区には近年、多くの子育て世帯が、住宅用の土地を購入、新築し、転居してくれています。

しかしながら、干布地区は市内の他地域と比較して、遊び場となる公園が極端に少ないように感じています。

公園を新たに整備するうえで、基準となるようなものはあるのでしょうか。

地震などの災害のときには、緊急避難場所としても活用できることから、ぜひ整備していただきたいと思います。

### <回答及び対応状況>

公園については、平成26年度に策定した集落公園整備基本指針に基づいて整備していく考えです。

公園を整備するには、整備箇所の選定や用地の協力依頼について、地域で検討していただくこととなりますが、既存の公園との位置関係、上下水道が整備されているか等も考慮の材料となります。

また、公園の整備後には、トイレ清掃や除草などの日常的な維持管理などは、地域の皆様から主体的に行っていただくこととなります。

このようなことから、公園の設置については、まずは、公園の必要性も含めて地域の中で御検討いただき、地域の総意となった場合には、事業化に向けて市に要望書等を提出していただくようお願いします。

No.	3	標 題	干布小学校の清掃について
所管課等		教育総務課、学校教育課	
<p>《市民のこえ》</p> <p>干布小学校のトイレを洋式化してくださったことで、子どもたちが利用しやすくなり、大変ありがたく思います。</p> <p>一方で、干布小学校の児童数が減少したことにより、日々の掃除が行き届かなくなっているのではないかと思います。子どもたちの日々の掃除は継続しつつ、例えば月1回、業者による清掃を取り入れて、校舎内をきれいに保てるような取り組みを行ってはいかがでしょうか。</p> <p>衛生面を考えて、便座と便器の間の汚れだけでも、支援をしていただきたいです。</p>			
<p>&lt;回答及び対応状況&gt;</p> <p>令和6年度は、干布小学校においてトイレ改修工事を行い、第一工区分は10月末から使用開始予定です。この後、2月まで職員トイレと体育館トイレの改修が行われます。トイレの洋式化、乾式化により、快適な環境で使用が可能となることに加えて、トイレ清掃についても学校の負担は軽減されるものと考えています。</p> <p>学校清掃に関しては、窓やエアコンなど、専門業者の力が必要な部分について業務委託を行っているところもありますが、「自分たちの学校は自分たちできれいにする」という教育理念を大切にしながら、できる限り児童生徒本人が清掃活動に関わり、自立に向けた力を育むことができるよう指導しているところです。目の行き届かなかった清掃残しがある場合は学校技能士が対応していますので、御理解くださいますようお願いいたします。</p>			

# 干布まちづくり懇談会の提言に対する対応状況

干布地域

令和6年10月2日開催

No.	4	標 題	第一中学校の通学路整備と今後の安全安心な地域づくりについて
所管課等		建設課、教育総務課	
<p>《市民のこえ》</p> <p>干布区長会でも、これまで再三に渡り要望してきました第一中学校の通学路整備ですが、県道山寺公園線との交差点部に課題があり、進捗が困難な状況との回答に終わっています。</p> <p>第一中学校に統合されてから既に半世紀以上経っています。</p> <p>このまま進んでいくと、通学路を生活道路として利用している干布、荒谷、貫津などの地域の方の不安や、生徒を持つ保護者の方々、今後第一中学校への進学を待つ次世代の保護者の方々の、第一中学校への通学（特に冬期間）に対する不安は解消されずじまいになってしまいます。</p> <p>このことが不安要因となり、他地域への転居等も考えられますし、このことが各地区の児童数減少の引き金にもなっているのではないかと推測されます。</p> <p>また、災害時の避難所にも第一中学校が指定になっています。</p> <p>このような観点からみても、第一中学校の通学路整備は安心・安全のまちづくりにとって、急務と思われます。</p> <p>新たに道路を整備する等、道路整備計画の整備規模の見直しも必要ではないでしょうか。</p>			
<p>＜回答及び対応状況＞</p> <p>御提言いただいた（仮称）市道原町下貫津線については、期成同盟会及び干布地区区長会から、市立第一中学校の通学路整備による安全確保の要望を受けたことにより、市では天童市道路整備計画の補助幹線道路に位置付け、県道天童山寺公園線と県道荒谷原崎線を結ぶ歩道付の二車線道路の計画で整備を検討してきました。</p> <p>事業の経過については平成29年度から事業に着手し、平成30年度には関係地権者を対象に事業説明会を開催したほか、道路法線を決定するための現地の測量や設計を実施しました。その際に県道天童山寺公園線との交差点部分の課題が判明し、解決に努めましたが、進展が見られないために現在は事業休止となっています。</p> <p>以上のことから、二車線道路への拡幅や歩道整備などのハード対策による大規模な整備は困難な状況ですので、規模を縮小した代替の整備案などについて、地区の方でお考えがあれば、市へ相談いただきたいと思います。路線の整備案が決まれば御要望いただいている他の路線を含めて、干布地区として優先順位を決めていただいたうえで事業を検討していきたいと考えています。また、ソフト面での対策も有効であると思われるので、通学路指定の変更や時間帯通行禁止の交通規制なども視野に入れ、地元の皆様や各関係機関と協議しながら検討していきます。</p>			

No.	5	標 題	今後の市報について
所管課等		市長公室	
《市民のこえ》			

## 干布まちづくり懇談会の提言に対する対応状況

干布地域

令和6年10月2日開催

市報は現在月2回の配布ですが、1回にできないでしょうか。

町内の構成員が一段と高齢化している中で、コロナ前にも増して町内会への負担多くなっているように思います。人数が少なく、町内会役員と嘱託員・嘱託補助員等、1人で何役も兼務しなければならない町内会は、特に負担感が強くなっています。

毎月2回発行している市報を1回にすることで多くの負担軽減を図ることができると思います。県内の市町村でも月1回発行のところが多くあります。

また、市のホームページでも閲覧可能であり、あらゆる分野でデジタル化を進めている中で、紙で配布というのは時代の流れにそぐわなくなってきたのではないのでしょうか。紙の使用を少なくすることで環境に優しく、経費の削減にもなり、配布する嘱託員、嘱託補助員の負担軽減にもなるのではないのでしょうか。

デジタルが苦手な方には講習会を開くなどして対応する方法もあると思います。

<回答及び対応状況>

市報てんどうは、嘱託員や隣組長の皆様からの御協力により、市内全世帯に月2回配布しています。日頃、御協力いただいている皆様に対しまして、心よりお礼申し上げます。

配布する方の負担軽減やペーパーレスの観点は大変重要であると認識していますが、市民の皆様には市政の動きや市民生活に必要な情報をお知らせし、新しい情報をより迅速にお伝えするためには、現在のところ月2回の発行が必要と考えています。

また、市報のデジタル化については、今すぐの実施は難しいと考えていますが、現在、市ホームページやフェイスブックへの掲載をはじめ、10月からはLINEも活用し、情報提供の手段を広げているところです。

今後とも、市民の皆様のデジタル活用の進捗状況を注視しながら、市報のデジタル化に向けた段階的な取り組みを検討していきます。

No.	6	標 題	第一中学校の夏季休暇について
所 管 課 等		学校教育課	
<p>&lt;&lt;市民のこえ&gt;&gt;</p> <p>今年の第一中学校の夏季休暇は、8月1日から20日までの20日間と市内でも短かったと思います。これまでにない取り組みでしたが、そのねらいと効果、問題等がなかったかについて教えてください。</p>			
<p>&lt;回答及び対応状況&gt;</p> <p>夏休みを減らし、授業日数を増やす目的の一つに、授業の学習効果を高めるということが挙げられます。生徒に疲れが出始める6時間目の授業を減らし、5時間授業の日数を増やすことで、より集中して授業に臨むことができます。また、教員にとっては生徒が帰った後の時間を、授業の準備や、個別対応に充てるなど、働き方改革も繋がることとなります。教員からは、部活動の終了時間も早まり、「時間的にも精神的にも余裕ができ、より細やかに生徒に向き合えるようになった。」という声が挙がっています。</p> <p>また、夏休みは全国的に短縮傾向にあるようですが、家庭支援の観点から、授業</p>			

## 干布まちづくり懇談会の提言に対する対応状況

干布地域

令和6年10月2日開催

日数が増えるということは、給食を学校で食べることになり、家庭の負担が減るため、保護者からは肯定的な意見もあります。また、学校は冷房が完備されていますので、暑い日中も快適に学習活動を行うことができます。

夏休みは、心身の休養と、通常の学校生活ではできない経験活動、自主・自律の生活態度の形成という面で重要です。そのうえで大切なのは、休みの長短ではなく、その過ごし方であると考えています。

7月末に予定されていた地域の行事等と、授業日が重なることもありましたが、柔軟に対応できたと聞いています。

今後とも、夏休み短縮の効果検証を進めるとともに、より有意義な学校生活及び長期休業になるよう努めていきます。

No.	7	標 題	新スタジアムを活かしたまちづくりについて
所管課等		文化スポーツ課、建設課	
<p>《市民のこえ》</p> <p>モンテディオ山形の新スタジアムのイメージ画像が公開され、いよいよ建設に向けて動き始めたことと地元である干布地区においても機運が高まっています。</p> <p>新スタジアムは民間主導による事業になったことは報道を通じて知っていますが、「新スタジアムを活かしたまちづくり」について市では観光や周辺開発等を含めてどのように考えているのでしょうか。</p> <p>また、現在もモンテディオ山形のホームゲーム時には周辺道路が渋滞し、交通の便が悪くなっています。新スタジアムはサッカーの試合以外にも活用されると聞いていますので、新スタジアムを活かしたまちづくりを推進していくなかで、そうした点も解消していただいき、満足度の高い事業になることを期待しています。</p>			
<p>＜回答及び対応状況＞</p> <p>新スタジアムについては、建設場所が山形県総合運動公園南側特設駐車場に決定してから、県、モンテディオ山形及び市で協議を重ねてきました。その結果、県と市は、スタジアムの所有権を持たず、民設民営での建設・運営を進めていくことが決定し、先日、新スタジアムのイメージ図が公開されたところです。</p> <p>天童市にとって、この新スタジアム建設は、本市の豊かな魅力を高めながら活力を創造するまちづくりを進めていくうえで、大きな力になっていく重要なものになると捉えています。</p> <p>そのため、天童市としては、立地自治体として、将来的に過度な負担とならないよう、まずは、スタジアム建設の実現に向けて支援していきたいと考えています。</p> <p>周辺道路の渋滞については、近隣に新たな工業団地の整備も計画していることから、試合開催時の駐車場の分散化や周辺道路の拡幅など、総合的に検討しています。</p>			